



TESLA



第3世代ウォールコネクターマニュアル

48A 単相

安全上の重要な情報.....	2
製品概要.....	4
製品仕様.....	4
サーキットブレーカーの定格/最大出力.....	5
ウォールコネクターの利用.....	6
機能.....	7
接続性.....	7
ホスト側のアクセスポイント.....	7
ローカルネットワーク.....	7
漏電遮断器.....	8
接地の正確性検出.....	8
温度監視.....	8
停電があった場合.....	9
ファームウェア アップデート.....	9
ウォールコネクターの外部コンポーネント.....	10
ウォールコネクターの内部コンポーネント.....	11
設置.....	12
製品内容.....	12
工具.....	13
設置作業における考慮事項.....	14
手順 1：電線管継手およびブッシング用のワイヤーボックスの準備.....	17
手順 2：設置面の準備.....	18
手順 3：ワイヤーボックスの準備および壁付け.....	19
手順 4：ワイヤーボックス経由のルート配線.....	20
手順 5：被覆除去と配線.....	21
手順 6：ワイヤーボックスへのウォールコネクタ取り付け.....	22
手順 7：ウォールコネクターの通電.....	23
試運転手順.....	24
パワーシェアリング.....	25
パワーシェアリングに関する概要.....	25
ブレーカーおよび配電盤の設定.....	26
パワーシェアリングの検討.....	27
既存システムの電力共有に関する必須要件の計算.....	27
ウォールコネクターの LED.....	28
ライトコード.....	28
エラーコード.....	29
赤色 LED のエラーに対する追加説明.....	29
保証に関する情報.....	31
責任の制限.....	31
紛争の解決.....	32



安全上の重要な情報

本製品を使用する前にすべての説明をお読みください。本書の指示内容を保存してください。

本マニュアルには、設置、動作、メンテナンス時に従っていただくべき、Tesla の第 3 世代ウォールコネクターに関する重要な取り扱い説明が記載されております。ウォールコネクターの設置前と使用前にすべての警告および注意事項を確認してください。

警告: 製品の利用時、常に、以下を含む基本的な注意事項に従ってください。

火災や感電の危険性に関する説明

警告: ウォールコネクターは、引火性、爆発性、苛酷性、または可燃性のある物質、化学物質、あるいは蒸気の近くには設置しないでください。

警告: ウォールコネクターの取り付け前、また清掃前には、回路遮断器で電源を遮断してください。

警告

警告: 本製品では、カリフォルニア州で癌を引き起こすと知られている 1 種類以上の化学薬品に暴露する可能性があります。

警告: この機器をお子様を使用する時は必ず監督者が必要です。

警告: ウォールコネクターは、常設の配線系統または機器接地の導線で接地する必要があります。

警告: ウォールコネクターは、指定された操作パラメーターの範囲で使用してください。

警告: 壁付けされているウォールコネクター本体を高圧洗浄したり、液体をかけたりすることは絶対に行わないでください。充電ハンドルに液体をかけたり、液体に浸したりすることは絶対に行わないでください。不必要にホコリや水分に露出されることを防ぐために、充電ハンドルをドックに収納してください。

警告: ウォールコネクターに欠陥、亀裂、摩耗、破損、その他の故障がある場合、または正常に動作しない場合は、製品を使用しないでください。

警告: 柔軟な電源コードや電気自動車用ケーブルに摩耗、破損、その他の故障がある場合、または正常に動作しない場合は、ウォールコネクターを使用しないでください。

警告: ウォールコネクターを開けようとしたり、分解、修理あるいは改造をしないでください。ウォールコネクターは、一般ユーザーの方が点検・修理できるものではありません。修理が必要な場合は、Tesla までご連絡ください。

警告: ウォールコネクターを移動する場合は、取扱いに注意してください。ウォールコネクターに無理な力や衝撃を与えたり、引っ張ったり、捻ったり、絡ませたり、引きずったり、踏みつけたりしないようにして、本体とコンポーネントに損傷を与えないようにしてください。

警告: ワイヤー、工具、針など鋭利な金属または指などでウォールコネクターの端子に触れないようにしてください。




警告: ウォールコネクターの中に指や異物を入れないでください。

警告: ウォールコネクターの各部に無理な力を与えたり、折り曲げたり、先の尖った物で破損したりしないでください。

警告: ウォールコネクターの使用が、植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器などの医療機器または植込み型医療機器の動作に影響を与えたり、動作の妨げになる場合があります。ウォールコネクターの使用前に、当該の各医療電気機器メーカーに問い合わせ、充電による電気機器への影響について確認してください。



注意事項

-  **注意:** 充電用の電源として自家発電機を使用しないでください。
-  **注意:** 誤った取り付け/試験方法でウォールコネクターを使用すると、車両のバッテリー、コンポーネントやウォールコネクター本体を損傷させてしまう恐れがあります。その結果として発生した損傷は、新車限定保証と充電機器限定保証の対象外となります。
-  **注意:** $-30^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ ($-22^{\circ}\text{F}\sim 122^{\circ}\text{F}$) の使用温度範囲外でウォールコネクターを使用しないでください。

注: 電気システムの研修を受けて作業を行う認可を受けた個人に限り、ウォールコネクターを設置することができます。



製品概要

本マニュアルは、部品番号 1457768-**-**で識別できるウォールコネクターに適用されます。

製品仕様

電圧および配線	定格 AC 200~240 V 単相
電流出力範囲	12 – 48 アンペア
端子台	12~4 AWG (3.5~22 Sq)、銅線のみ
対応電線管のサイズ	21 mm (¾インチ) デフォルト、27 mm (1 インチ) オプション
接地方式	TN/TT
周波数	50/60 Hz
ケーブル長	2.6 m (8.5 フィート) または 5.5 m (18 フィート)
ウォールコネクター寸法	高さ: 345 mm (13.6 in) 幅: 155 mm (6.1 in) 奥行: 110 mm (4.3 in)
ワイヤーボックスのブラケット寸法	高さ: 250 mm (9.8 in) 幅: 120 mm (4.7 in) 奥行: 50 mm (2.0 in)
重量 (ワイヤーボックス含む)	10 ポンド (4.5 kg)
動作温度	-22°F ~ 122°F (-30°C ~ 50°C)
保管温度	-40°F ~ 185°F (-40°C ~ 85°C)
エンクロージャの保護等級	Type 3R
換気	不要
遮断方法	外部分岐回路ブレーカー
漏電遮断器	一体型 (CCID20、UL-223102 準拠)
Wi-Fi	2.4 GHz、802.11b/g/n
機関承認	cULus - E351001

輸送および保管：移動中、輸送中、保管中にはウォールコネクターが保管温度範囲内にあるようにしてください。

本デバイスは、FCC（米国連邦通信委員会）規格仕様のパート 15 に準拠しています。操作には以下の条件が適用されます。(1) 本装置は、有害な干渉を引き起こさないこと、(2) 本装置が望ましくない動作を引き起こす干渉も含め、全ての干渉を受信すること。



サーキットブレーカーの定格/最大出力

電源出力

電源出力を最大にするには、標準 2 極、60 アンペアのサーキットブレーカーを設置します。ウォールコネクターには統合型 GFCI 保護回路が内蔵されています。

ウォールコネクターは既存の電源に合わせてカスタマイズすることができます。電源供給で 60 アンペアの設定に対応できない場合、低いアンペア設定を選択してください。

サーキットブレーカー（アンペア）	最大出力（アンペア）	200V における出力（kW）
60	48	9.6
50	40	8.0
40	32	6.4
30	24	4.8
20	16	3.2
15	12	2.4

注: 外部の遮断スイッチは、必要なものでも推奨されるものでもありません。

注: 試運転プロセス時にサーキットブレーカーのサイズがプログラミングされます。詳細については、[試運転手順 24 ページを参照](#)を参照してください。

注: 一部の Tesla 車両では、最大出力よりも低い電流を流します。実際の充電速度はウォールコネクターの出力と車載充電器により異なります。

配電盤の導線および接地（アース）線

- 最大出力よりも低い回路に取り付ける場合、地域の電気工事規定を参照し、選択したサーキットブレーカーに適したサイズの導線とアース線を選択してください。
- 最大出力の回路に取り付ける場合、導線には最低でも（14 Sq）、90°C 定格の銅線を利用してください。
注: 必要に応じて導線のサイズを上げてください。
- ウォールコネクターが複数台ある場所には、各ウォールコネクターにサーキットブレーカー、L1、L2/N 及び接地線が必要です。
- ウォールコネクターのワイヤーボックスの端子でのみ銅線を終端させます。導線は動かないように固定します。
- 屋外へ設置する場合、ワイヤーボックスまでの給電線を保護する際に防水仕様の継手を使用します。

接地（アース）接続

ウォールコネクターには、現地でメイン機器の接地点に戻る接地経路が必要です。適切な接地接続がされていないと、接地の正確性検出試験でウォールコネクターにエラーが発生します。機器の接地線は、回路の導線と一緒に引いてワイヤーボックス内の機器の接地端子に接続する必要があります。地域の電気工事規定に従ったサイズのアース（保護接地端子）線を取り付けます。



ウォールコネクターの利用

1. 充電ハンドル上のボタンを押したり、充電ポートの扉を押したり、モバイルアプリを使用したり、車両のタッチスクリーンを使用して車両の充電ポートを開きます。
2. 充電ハンドルを車両の充電ポートに差し込みます。
3. 車両のコントロールで充電を確認します。
4. 車両から充電ハンドルを外すには、ハンドル上のボタンを長押しして充電ポートのロックを解除します。

注: 充電ハンドルを外す際には、車両のロックを解除しておいてください。



5. 車両の充電ポートから充電ハンドルを外します。
6. ウォールコネクター周りで反時計回りに充電ケーブルを巻き、充電ハンドルをケースの中に入れます。





機能

接続性

ウォールコネクターには、現地のローカルルーター、車両、携帯機器、他のウォールコネクター、その他の Tesla 製品と通信するため Wi-Fi 接続機能が備わっています。



ホスト側のアクセスポイント

ウォールコネクターは、WPA2 でパスワード保護された 2.4 GHz、802.11 Wi-Fi アクセスポイントネットワークの役割を担い、試運転や他の機器への接続を円滑に進めます。

ウォールコネクター接続用の固有の Wi-Fi ネットワーク名と WPA2 パスワードはメインユニットの背面側のラベル、および同梱されているクイックスタートガイドの表紙カバーに印字されています。



ローカルネットワーク

ウォールコネクターをローカルの Wi-Fi ネットワークに接続すると、ワイヤレスファームウェアアップデートの受信、リモート診断アクセス、使用データ量のトラッキング機能を利用できます。認証、請求、その他の使用権管理機能を利用するサイトには Wi-Fi 接続が必要です。

ウォールコネクターは、WPA2/3 で保護された 2.4 GHz、802.11 インフラストラクチャモードのネットワークにのみ対応しています。

注: 非表示のネットワークにも対応しています。

注: 将来的に、ファームウェアアップデートで WPA エンタープライズモードに対応させる予定です。

注: 今後のファームウェアアップデートで、使用権管理機能が有効になります。



漏電遮断器

内蔵の漏電遮断器（GFCI）保護では、自動的に電源供給導線間の電流の不整合を検出し、接地（保護接地端子）導線に電流が流れていることを示します。

10 秒間充電して接地のエラーが発生した場合、ウォールコネクタでは 15 分間待ってから自動的に充電を再度試みます。4 回再試行後に充電が出来ない場合は、ユーザーインタラクションが必要です。

充電して 10 秒間以内に住居用の電流エラーが発生した場合、ウォールコネクタは遮断され、充電機能を復元するためにユーザーインタラクションが必要になります。

ユーザーインタラクションとは充電ハンドル上のボタンを押す、車両で充電ハンドルを外したり入れ直したりする、などの対応を推奨しています。これで問題が解決しない場合には、水が入ったなどの接地エラーの問題について検索してください。

接地の正確性検出

ウォールコネクタは安全な接地接続の有無を常時確認し、障害から自動で復旧します。接地の正確性検出は、導線と接地間の電気抵抗を測定するために接地（アース）線に少量の電流を流して、動作するものです。高いインピーダンスが検出されると、ウォールコネクタは充電を遮断して赤色点滅でエラーコード 2 を表示します。エラーコードの一覧については、[エラーコード 29 ページを参照](#) を参照してください。

TN 電力システムで作業する際の接地を確保するため、配電変圧器の足の 1 つを接地に接続する必要があります（ニュートラル）。接地結合は、現場の電気システム内の 1 か所だけで行うべきものです。

ウォールコネクタの接地確保は TT または IT 電力システム構成の国では調整される可能性があります。

接地モニターの遮断器機能は、ウォールコネクタの接地接続を監視します。設置したウォールコネクタの接地系統と接地インピーダンスに基づいて正しいオプションを選択してください。

国によって、以下の 3 つのオプションを使用可能です。

- **有効:** 接地接続を監視し、高接地抵抗を検知すると、ウォールコネクタが停止します。これは保護を提供する推奨設定であり、強力な接地接続がされている場合（TN ネットワークと、ほとんどの TT ネットワークの場合）、および条例で必要とされる場合に選択してください。
- **モニター:** 接地接続を監視しますが、高接地抵抗を検知しても、ウォールコネクタは停止しません。接地モニタリング チェックで誤検出が発生し、接地インピーダンスを改善できない場合（一部の TT ネットワークの場合）、これを選択してください。
- **無効:** 接地接続が監視されません。接地接続がない場合（IT ネットワークの場合）や、この監視機能で発生する電流に問題がある場合（高感度の残留電流装置がある TT ネットワーク等）、これを選択してください。

注: 接地監視は北米における設置では必ず有効にします。

地絡や公共電気の電力サージなどの一時的な障害からは、自動で復旧します。

温度監視

ウォールコネクタは、充電を行いながら複数個所の温度を監視して、充電セッションの安定性を確保します。温度センサーはリレー、マイクロコントローラ、ケーブルハンドルおよびメインユニットの後部に配置されており、ワイヤーボックス内の端子の温度を監視します。

温度が高い場合、ウォールコネクタは電流と充電速度を減少させて保護します。その際、本体正面の LED ライトは継続して「流れる緑色」と 3 回の赤色点滅を表示して、高温によって充電が減少していることを示します。温度が引き続き上昇すると、ウォールコネクタは充電を停止し、3 回の赤色点滅を表示します。



製品概要

性能を最適化するため、ウォールコネクターは大気温度が 50°C（122°F）未満を維持する場所に設置してください。稀に、ウォールコネクターは 35°C（95°F）の大気温度で電流の削減を開始することがあります。電流の調整は自動であり、ユーザーが入力する必要はありません。温度が下がると、ウォールコネクターは開始時の電流に復帰します。

停電があった場合

ウォールコネクターで車両を充電している間に停電になった場合、充電は電力の復旧後 1~3 分以内に自動的に再開されます。ウォールコネクターのフェイスプレート上で青色ライトが点灯し、車両と通信していること、充電再開待ちであることを示します。また、電力復旧後に充電ハンドル上のボタンを押すと、ウォールコネクターが直ちに充電を再開します。

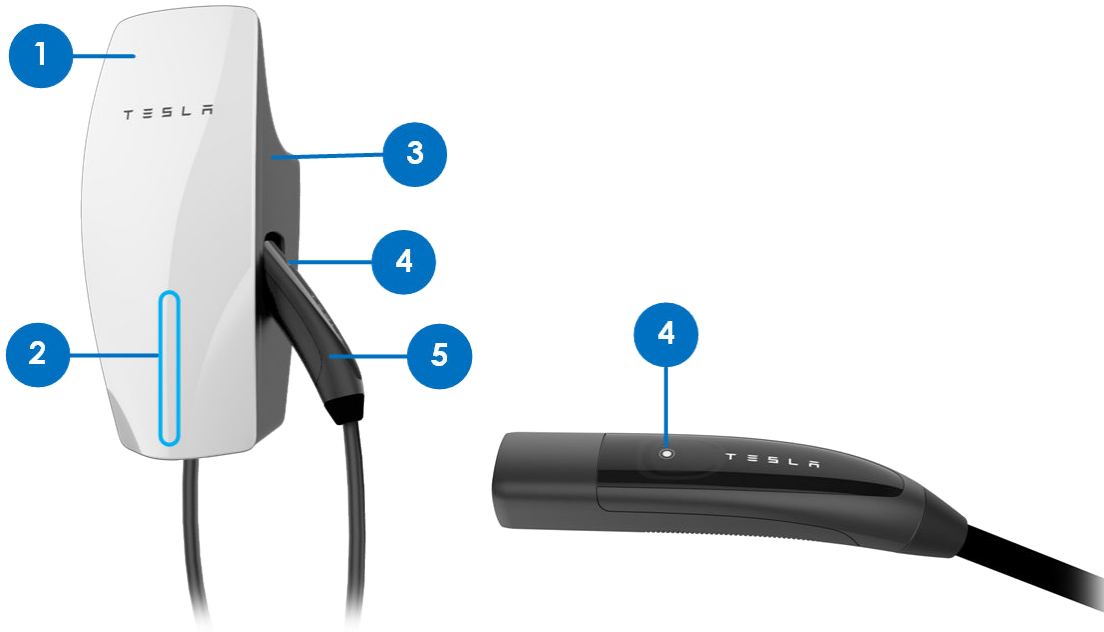
ファームウェア アップデート

ファームウェア アップデートは自動的にウォールコネクターに適用され、ユーザーエクスペリエンスを改善し新機能を導入します。ウォールコネクターを Wi-Fi に接続して、最新のファームウェア アップデートにアクセスします。[試運転手順 24 ページを参照](#) を参照してください。



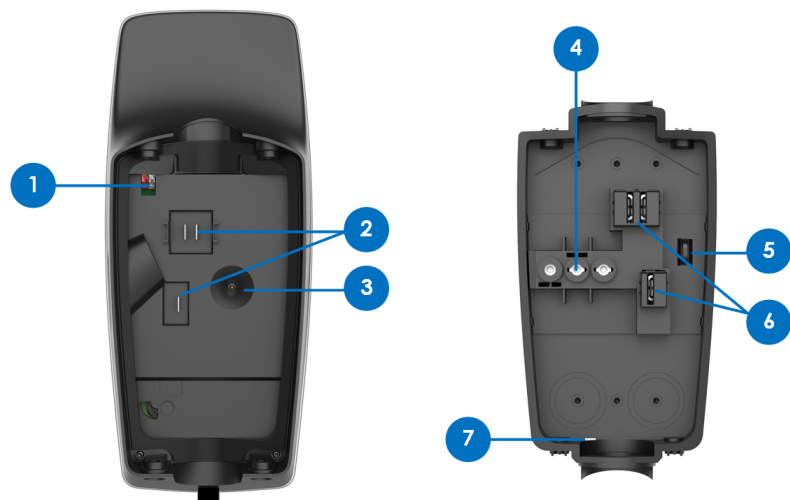
ウォールコネクターの外部コンポーネント

「ウォールコネクター」とは、製品全体を指します。



1. フェイスプレート
2. LED ライトバー（垂直）
3. メインユニット
4. 充電ハンドルボタン
5. 充電ハンドル

ウォールコネクターの内部コンポーネント



1. RS-485 ポート
2. ブレード接点
3. 温度センサー
4. 導線用端子
5. 結束バンドアンカー
6. スライド接点
7. ワイヤボックスの排水口（Type 3R の保護を可能にする）
8. 中性点
9. L1
10. L2
11. L3
12. グラウンド（PE）



設置


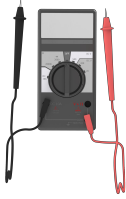



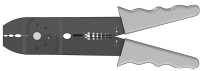




製品内容

 <p>メインユニット</p>	 <p>ワイヤーボックス</p>	 <p>ワイヤーボックス取り付け用 テンプレート</p>	 <p>六角ビット (4 mm)</p>
 <p>結束バンド (x1)</p>	 <p>ウォールコネクタ・ワイヤーボックス間用留め具 (x4)</p>	 <p>ワイヤーボックス・ウォール間用留め具 (x2)</p>	 <p>クイックスタートガイド (SSID ネットワーク名と固有パスワードが記載されたステッカーを含む)</p> <p>本文書を保存してください</p>

注: 六角ビット、結束バンドおよび留め具は、ウォールコネクタのメインユニットに取り付けられているワイヤーボックス内のビニール袋に入っています。

工具

必要な工具

 <p>トルクドライバー (5.6 Nm、50 ポンド・インチ)</p>	 <p>マルチメーター</p>	 <p>スタッドファインダー</p>	 <p>巻き尺</p>	 <p>ドリル</p>
 <p>ワイヤーストリッパー</p>	 <p>ドリルビット、6.5 mm (1/4 インチ)</p>	 <p>ドリルビット、4 mm (5/32 インチ)</p>	 <p>ビット付きドライバー</p>	 <p>スマートフォン (Wi-Fi 接続)</p>

あるとよい工具

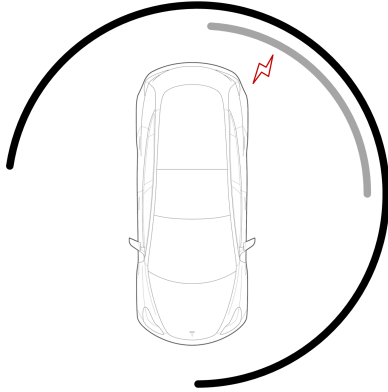
 <p>段付きビット、29 mm (1-1/8 インチ)</p>	 <p>段付きビット、35 mm (1-1/8 インチ)</p>	 <p>パソコン (Wi-Fi 接続)</p>
---	---	--

設置作業における考慮事項

ウォールコネクターはその重量を支えられる平らな壁面に取り付けることができます（壁、柱脚など）。ウォールコネクター（ワイヤーボックスとフェイスプレート）重量 ~4.5 kg（10 ポンド）。

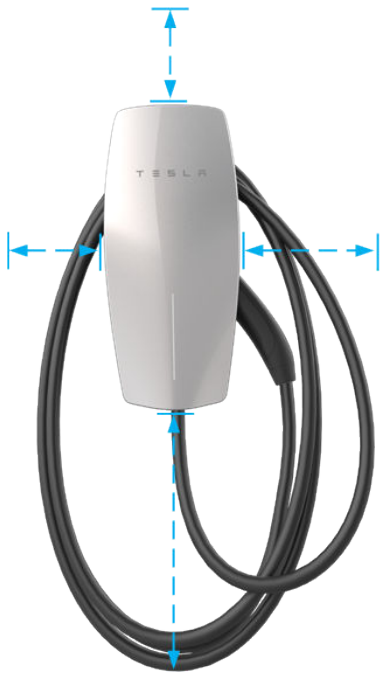
場所の決定

充電ケーブルが車両の充電ポートまで余裕を持って届く場所にウォールコネクターを設置します。



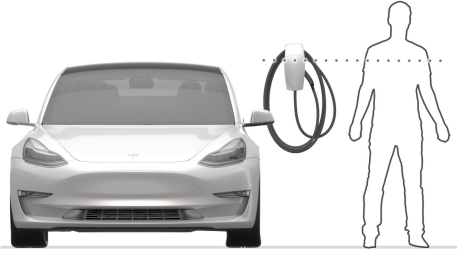
- ダークグレー: 5.5 m（18 フィート）ケーブルを使用する場合のウォールコネクターの推奨設置場所
- ライトグレー: 2.6 m（8.5 フィート）ケーブルを使用する場合のウォールコネクターの推奨設置場所

全側面に十分に間隔を空けた場所にウォールコネクターを設置して、充電ケーブルをユニットと充電ハンドル付近で巻き付けて、余裕をもって側面のドックに入れられるようにします。



注: スペースが制約されている場合には、ウォールコネクターの近くにケーブルオーガナイザー（別売り）を取り付けます。

高さの決定



- 高さの上限（屋内および屋外）：1.52 m（60 インチ）
- 推奨する高さ：1.15 m まで（45 インチまで）
- 屋外での高さの下限：0.6 m（24 インチ）
- 屋内での高さの下限：0.45 m（18 インチ）

Wi-Fi 信号の受信を最良にする

ウォールコネクターをローカルの Wi-Fi ネットワークに接続して、最適に機能させる必要があります。最大限に Wi-Fi 信号を受信できるようにするため、反対側にコンクリート、石工、金属スタッド、また Wi-Fi 信号の受信を妨げる他の物理的な障害のある場所にウォールコネクターを設置することは避けてください。

注: その場所で携帯機器がローカルの Wi-Fi に接続できる場合は、ウォールコネクターを接続できるという良い判断材料になります。





配線エントリーのオプション



ウォールコネクタのワイヤーボックスには複数の配線エントリーオプションがあります。一箇所エントリールートを決めて、選択したエントリールートに基づいた設置説明に従ってください。

1. トップエントリーの場所
2. リアエントリーの場所（左側または右側）
3. ボトムエントリーの場所

複数台のウォールコネクタを設置する場所で設置に関して追加で考慮すべき事項については、[パワーシェアリングの検討](#) 27 ページを参照を参照してください。



手順 1：電線管継手およびブッシング用のワイヤーボックスの準備

通常の電線管サイズは 21 mm (3/4 インチ) です。必要に応じて、27 mm (1 インチ) の電線管を利用することもできます。

継手と電線管のサイズに基づいて、ワイヤーボックスを準備します。

- トップ エントリーやボトム エントリー用: 電線管のプラグを手で外します。
- リア エントリーには: 29 mm (1 1/8 インチ) のステップビットを使用して穴を開け、継手用のワイヤーボックスを準備します。

表 1. 21 mm (3/4 インチ) の電線管用

トップ エントリー	ボトム エントリー	リア左側エントリー	リア右側エントリー
		29 mm (1 1/8 インチ)	29 mm (1 1/8 インチ)

表 2. 27 mm (1 インチ) の電線管用

トップ エントリー	ボトム エントリー	リア左側エントリー	リア右側エントリー
広げないでください。			
	35 mm (1 3/8 インチ)	35 mm (1 3/8 インチ)	35 mm (1 3/8 インチ)

注: 27 mm (1 インチ) のリアエントリーとボトム エントリー用に、35 mm (1 3/8 インチ) ステップビットで穴を開けて継手用のワイヤーボックスを準備します。



手順 2 : 設置面の準備

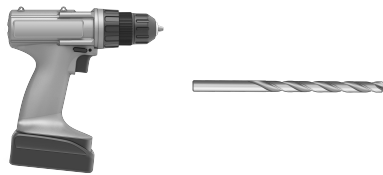
1. 可能なら、スタッドファインダーを使用して支柱スタッド位置を決めます。ウォールコネクターの重量を支えられる合板や他の平らな壁面にも設置することができます。



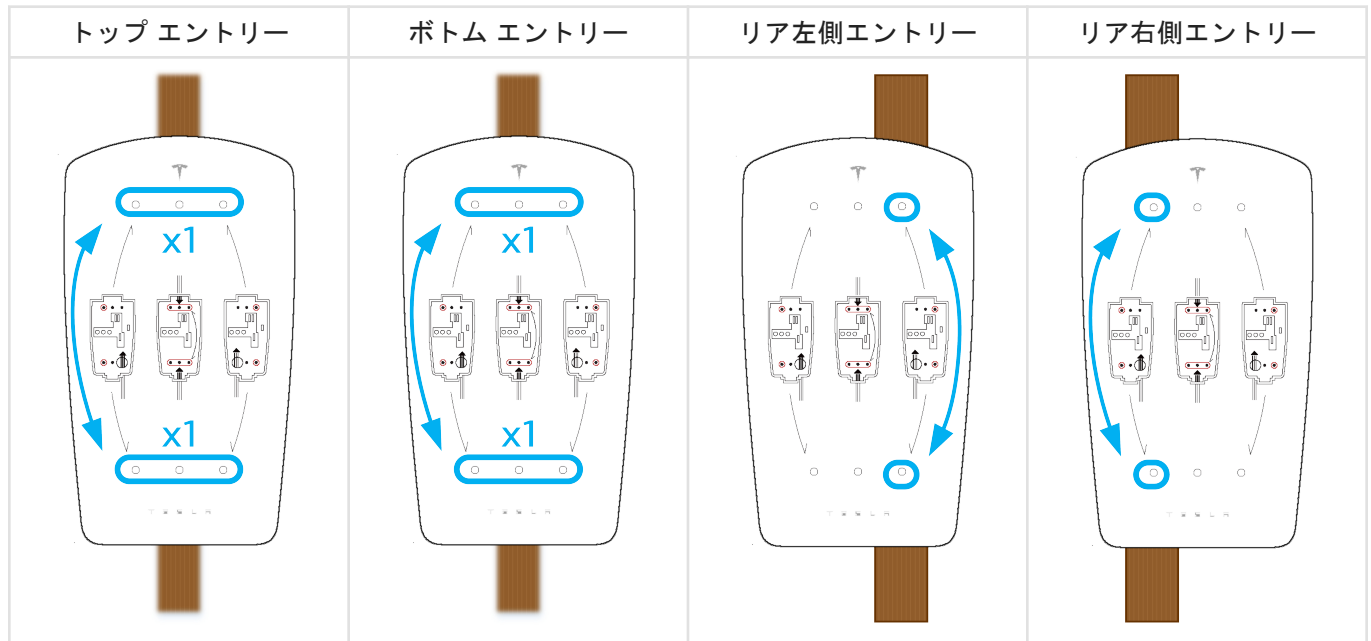
2. 選択した入線経路に基づいて、付属のボール紙の取り付け用テンプレートを設置面に当て、4 mm (5/32 インチ) ビットを使用して2か所（1か所は上面、もう1か所は底面）に下穴を開けます。

注: リア左側やリア右側の入線口で作業する場合、入線口の反対側で取り付け用穴を2か所選択します。

注: 水平器をボール紙の取り付け用テンプレートと一緒に使用して、所定通り水平に設置できるように確認します。



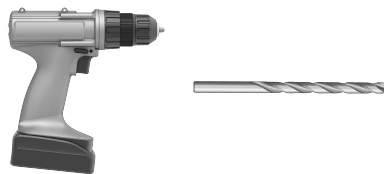
ドリルビット、4 mm (5/32 インチ)





手順 3 : ワイヤーボックスの準備および壁付け

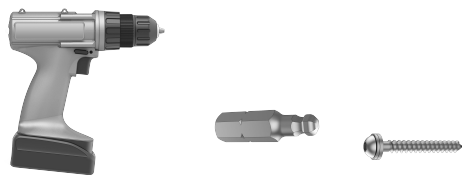
1. 6.5mm (1/4 インチ) ビットを使用し、ボール紙の取り付け用テンプレートで選択した場所と合うようワイヤーボックスに案内孔を開けます。



ドリルビット、6.5 mm (1/4 インチ)



2. 付属の 4 mm 六角ビットと付属の木ねじ 2 本を使い、ワイヤーボックスを取り付け場所に付けます。



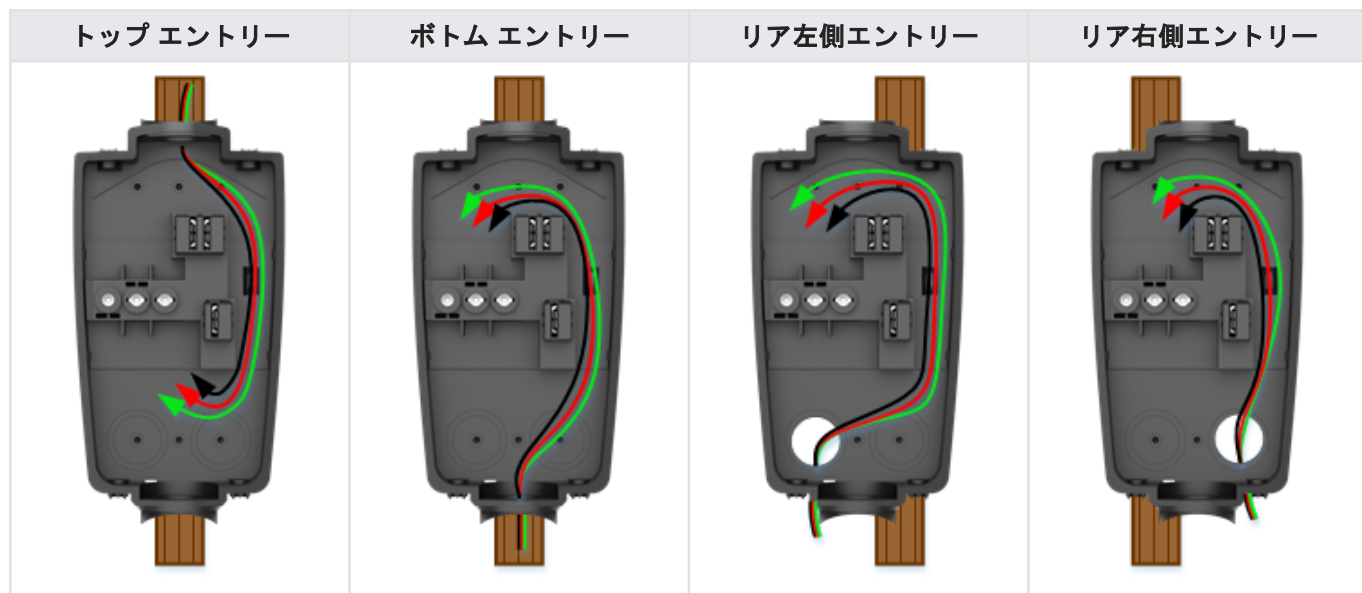
注: Type 3R 等級は、ワッシャーに密封用のガスケットが付いているときに限りご利用いただけます。別の面（組み立て式柱脚など）に取り付けする場合は、別のねじと密封用ワッシャーを使用してください。

注: 木ねじは、ウォールコネクター、ケーブル、充電ハンドルの全重量を所定の位置で支えるように設計されています。



手順 4 : ワイヤーボックス経由のルート配線

1. 選択したエントリーポイントから、ワイヤーボックスの右側のサービスループチャンネルを通して配線します。



2. 適切なケーブルグランド、ブッシュ、または継手を使用して配線をしっかりと保護して水やほこりが入らないようにします。



注意: ブッシュを所定の位置に取り付け、ワイヤーボックスに引き込むときの導線やアース線への損傷を防止します。



注意: 銅線以外は使用しないでください

注: 干渉を防ぐために、圧縮式の継手を使用することを推奨しています。

注: 配線のトップエントリーやボトムエントリーで継手を止めねじで固定する場合、ねじがウォールコネクターのケーブルの邪魔にならない位置にねじを配置するようにします。



手順 5 : 被覆除去と配線

1. 配線の被覆を 13 mm 程度 (1/2 インチ程度) 剥がし、サービスチャンネルを通し、各配線を正しい端子台に接続します。

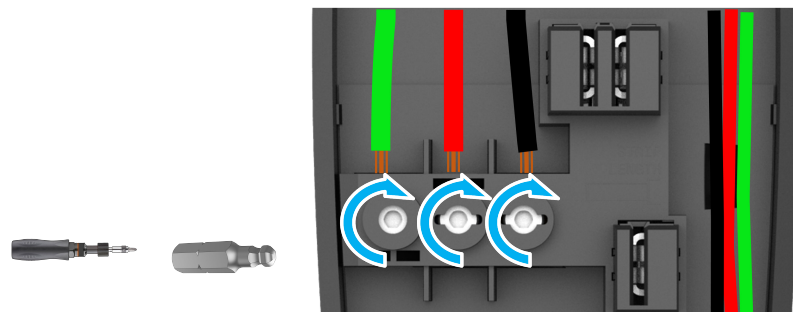
注: 端子は双方向です。



2. 付属の結束バンドを使用して、サービスチャンネルの配線を固定します。



3. トルクドライバーと付属の 4 mm 六角ビットを使用して、端子のねじを 5.6 Nm (50 ポンド・インチ) で締めます。



注: 中性線は接続せず単相 200V の配線としてください。

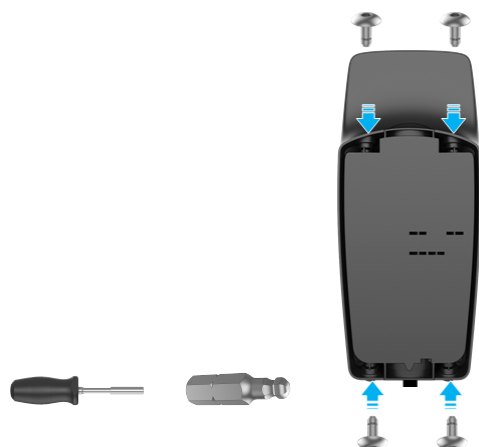
手順 6 : ワイヤーボックスへのウォールコネクター取り付け

1. 内側に向かって押して、メインユニットをワイヤーボックスに取り付けます。



2. ビットドライバーを使用して付属の留め金具 4 個および 4 mm 六角ビットでメインユニットをワイヤーボックスに固定します。内側のシールを圧縮するようフェイスプレートに力を加えます。しっかりと固定されるまで、手でねじ 4 本をきつく締めます。

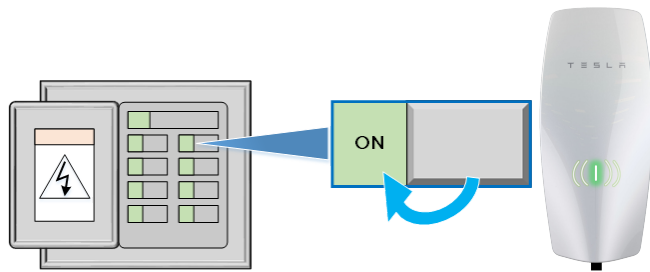
注: 本手順ではドリルを使用しないでください。





手順 7：ウォールコネクターの通電

1. 上流の回路遮断器をオンにして、ウォールコネクターに通電します。



ウォールコネクターの LED がオンに切り替わります。 [ウォールコネクターの LED 28 ページを参照](#) を参照してください。

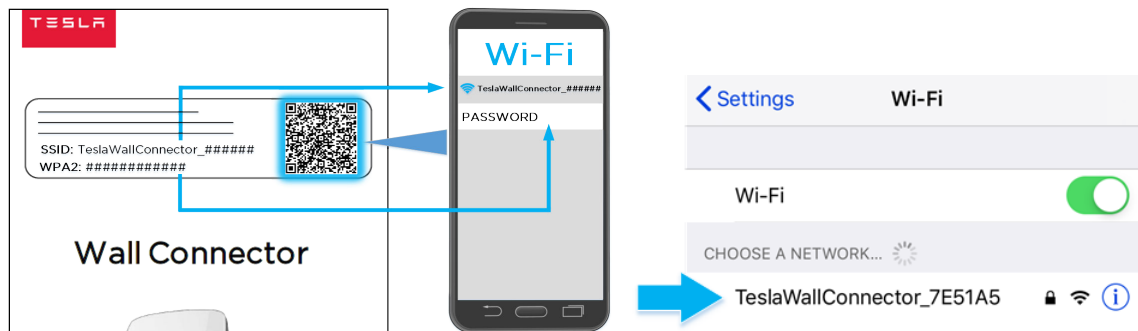
2. 試運転手順に進みます。



試運転手順

ウォールコネクターの試運転を実施して容易に、サーキットブレーカーのサイズ、Wi-Fi 接続、パワーシェアリングオプションの設定ができます。

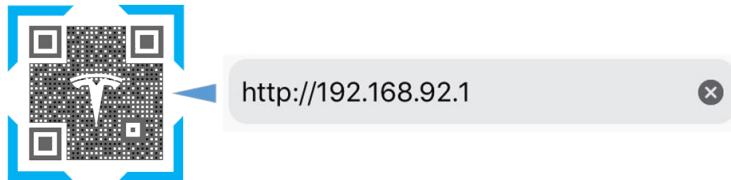
1. ウォールコネクターに対応する分岐回路をオンにしてユニットに通電します。
起動時にウォールコネクターで 10 秒間緑色の LED が点灯し、設定された最大のサーキットブレーカーであることを示します。
2. スマートフォンなど Wi-Fi を有効にした機器を使用し、ウォールコネクターが発信する SSID 無線信号に接続します。クイックスタートガイドの表紙ページのステッカーの QR コードをスキャンしてウォールコネクターのネットワークに接続することができます。また、該当ネットワークを選択して WPA2 パスワード（クイックスタートガイドの表紙ページのステッカーに記載）を手入力してウォールコネクターのネットワークに接続することもできます。



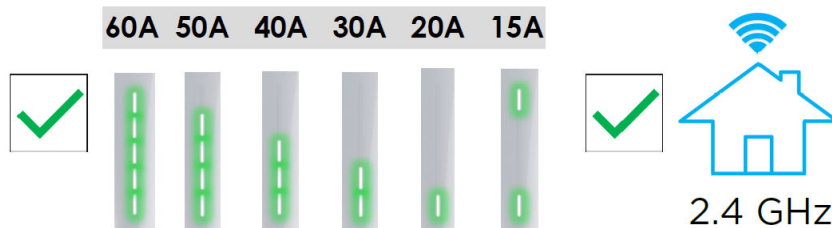
注: Wi-Fi ネットワークは 15 分間発信されます。

注: ウォールコネクターの SSID に接続できない場合、携帯機器のセルラーデータ機能をオフにしてからもう一度やり直します。

3. ウォールコネクターに接続している機器で以下の QR コードをスキャンして、ウェブブラウザの試運転インターフェースにアクセスします。または、URL アドレス (<http://192.168.92.1>) をウェブブラウザに手入力します。



4. ウェブブラウザの画面上の試運転手順に従い、ウォールコネクター独自の回路遮断器にウォールコネクターを指定して、ローカルサイトの Wi-Fi ネットワークに接続します。



注: もう一度ウォールコネクターで SSID を発信させるには、充電ハンドルのボタンを 5 秒間長押しするか、サーキットブレーカーをオフにしてからもう一度オンにします。



パワーシェアリング

パワーシェアリングに関する概要

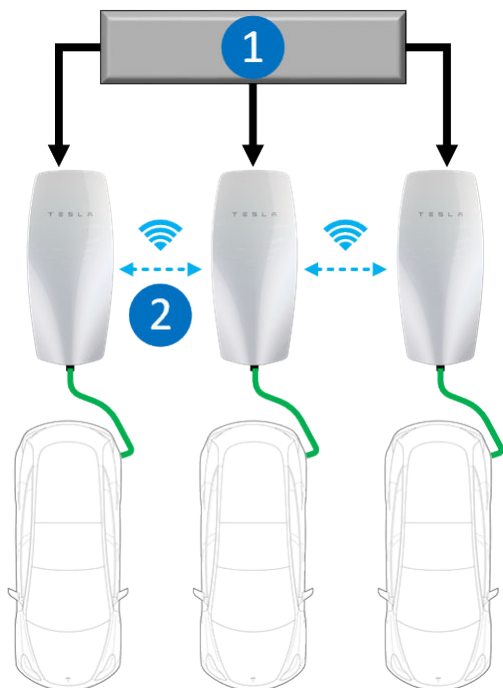
この機能は、今後のワイヤレスファームウェアアップデートにてご利用いただけるようになります。

ファームウェアに基づいたパワーシェアリング機能は、同じ場所に設置されるウォールコネクタ最大 16 台に対して有効にすることができ、ユニット間の Wi-Fi 接続を経由してその場所の合計電力を賢く共有できます。これにより、多くの住居/商業用途において、複数車両の同時充電用に特定の電気設備のアップグレードが必要になる状況を減らします。

試運転時には、

- ウォールコネクタは個々の分岐回路（各最大 60 アンペア）に振り分けられます。
- 電力総計は、接続されているウォールコネクタのグループの合計になります。

電力を共有するウォールコネクタの電流出力の総計は、決してその場所の電力計上の合計を超えません。



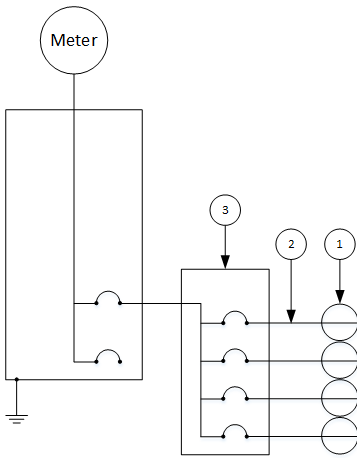
1. AC 電源供給（配電盤）
2. Wi-Fi 通信経由のパワーシェアリング

ブレーカーおよび配電盤の設定

パワーシェアリングの回路は、他の電力負荷にも対応できるよう配電盤に設置されます。スペースに制限がある場合や主電源がウォールコネクタから離れた場所にある場合には、将来に備えて専用の配電盤を設置することが望ましいと言えます。

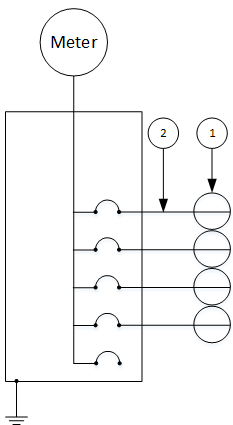
ウォールコネクタの電力共有ダイヤグラムの例は、以下を参照してください（1つは予備配電盤の付いたもの、1つは予備配電盤のないものです）。以下の例では、それぞれ個々のウォールコネクタを単独で使用したときに48アンペアの電力を供給することができます。車両に差し込むウォールコネクタ数が増えると、システムではその場所の電力総計に基づいて自動で電力を分配します。

予備配電盤がある場合の電力共有の設定



1. ウォール コネクタ
2. 60 A の分岐回路
3. 100 A 予備配電盤/フィーダーブレーカー

予備配電盤がない場合の電力共有の設定



1. ウォール コネクタ
2. 60 A の分岐回路

パワーシェアリングの検討

ウォールコネクターのパワーシェアリングはワイヤレスで行われます。

最適なパフォーマンスを発揮させるため、パワーシェアリングネットワーク内の複数のウォールコネクターを可能な限り互いに見えるように設置してください。

注: 一列に並べて設置することが推奨されますが、必須ではありません。ワイヤレス通信はコンクリートを回り込んで届きますが、到達範囲は短くなります。

コンクリートやレンガ、金属板、その他 Wi-Fi 信号強度を弱めるような障害物の反対側にウォールコネクターを設置することは避けてください。

注: 宅内の Wi-Fi にモバイルデバイスが接続できるかどうかは、ウォールコネクターの接続性を確認する判断材料になりません。

既存システムの電力共有に関する必須要件の計算

既存の電力系統向けのウォールコネクターの台数毎に電源に必要な要件を計算するためには、以下の式を利用します:

連続利用可能なアンペア数:	ウォールコネクター台数:	100%利用したときのウォールコネクター毎の最大出力アンペア数:
$\frac{\text{連続利用可能なアンペア数}}{\text{ウォールコネクター台数}} = \text{100%利用したときのウォールコネクター毎の最大出力アンペア数}$		

注: 電力を共有できるウォールコネクターの最大数は 16 台です。

注: ウォールコネクター毎の最大アンペア数を計算するときに、電力共有動作において 100%利用では 6 アンペアよりも大きくなければなりません。最大アンペア数が 48 アンペアよりも大きい場合、電力の共有は必要ありません。

大規模な設置場所では、100%利用率と関連して予想駐車時間を検討します。

予想駐車時間 (時間)	例	100%利用時のウォールコネクター毎の推奨アンペア数
6 時間以上 (長時間)	長時間の駐車、夜通しの駐車	12 アンペア以上
3~5 時間 (中程度の時間)	勤務先、立ち寄り	24 アンペア以上
1~2 時間 (短時間)	買い物、食事	32 アンペア以上

注: 100%利用とは、各車両に供給できる電力が最小値となる、充電速度的にはもっとも条件の悪い状態です。多くの場合、すべてのウォールコネクターが充電するわけではありませんので、残りの車両により速い充電を行うことができます。



ウォールコネクターの LED

ライトコード

起動

サーキットブレーカーで通電すると、フェイスプレート上のすべての LED（計 7 個）が 1 秒間点灯します。



起動後

サーキットブレーカーでウォールコネクターを通電した後、特定の緑色の LED（サーキットブレーカーのサイズによる）が 10 秒間点灯します。実際のライトコードについては、以下の表を参照してください。

サーキットブレーカー	60 A	50 A	40 A	30 A	20 A	15 A
最大出力	48 A	40 A	32 A	24 A	16 A	12 A

注: 最初の 10 秒間の点灯後に緑色の LED をもう一度点灯させるには、充電ハンドルボタンを長押しします。

電力を共有するために複数台のウォールコネクターを接続すると、10 秒間起動ウィンドウが表示されている間は中央の青色の LED が点灯します。

その他

スタンバイ、プラグ差し込み待ち	充電中	SSID ブロードキャスト、作動準備	充電待ち、車両と通信中
上部の緑色点灯	全部の緑色が順に点灯	緑色の点滅	青色点灯



エラーコード

赤色の点滅コードは 1 秒間の間隔をはさみ、繰り返し点滅します。

ライトバー	説明	詳細
ライトなし	電源の問題、充電不可	電源が入っていることを確認します。問題が解決しない場合、電気技術者にワイヤーボックスからウォールコネクターを取り外してもらい、マルチメーターを使って端子台に電圧がかかっていることを確認してもらいます。以下の電圧読み取りを記録します: L1~L2/N、L1~接地、L2/N~接地。
赤色で点灯	内部エラー、充電不可	サーキットブレーカーをオフにして、5 秒待ってからもう一度オンにします。赤色ライト点灯が続く場合、部品番号とシリアル番号を記録して Tesla までお問い合わせください。
赤色点滅 1	安全でない電流経路で漏電、充電不可	ハンドル、ケーブル、ウォールコネクター、車両の充電ポートに損傷、水が入った形跡がないか点検します。電気技術者に配電盤内の導線に直接、接地接続されていないことを確認してもらいます。
赤色点滅 2	接地の正確性検出エラー、高い接地抵抗の検出、充電不可	ウォールコネクターで正しく接地されていることを確認します。適切に動作させるために、電源の上流部分に接地接続されていなければなりません。ワイヤーボックス端末、配電盤、ジャンクションボックスなどの物理的な接続をすべて確認します。住居用の電源では、接地とメインパネルの中性線間の接続を確認します。過降変圧器に接続されている場合、変圧器メーカーにお問い合わせして接地接続方法に関する説明を受けてください。
赤色点滅 3	高温検出。充電制限または充電不可	ウォールコネクターが Wi-Fi に接続していて、最適な温度検知機能のために最新のファームウェアに更新されていることを確認します。フェイスプレートとケーブルハンドルが熱くなりすぎているかを確認します。電気技術者にワイヤーボックスからウォールコネクターを取り外してもらい、使用されている導線が適切なサイズであること、端子台の締付トルクが仕様通りであることを確認してもらいます。
赤色点滅 4	インターネット接続不良、オンライン機能無効	その場所の Wi-Fi 信号の強度に干渉する恐れのある物がないかを確認します。Wi-Fi ルーターのローカルネットワークが動作環境にあるかを確認します。最近 Wi-Fi のパスワードが変更されている場合、携帯機器上の試運転プロセスに従って Wi-Fi 設定を更新します。
赤色点滅 5	電力の共有通信上の問題、充電の低下	その場所の Wi-Fi 信号の強度に干渉する恐れのある物がないかを確認します。携帯機器上の試運転プロセスに従って、電力の共有用のウォールコネクターをもう一度接続し直してください。
赤色点滅 6	過電圧または送電システムの品質低下を検出、充電不可	電源の公称電圧が 200~240 ボルトであることを確認します。問題が解決しない場合、電気技術者にワイヤーボックスからウォールコネクターを取り外してもらい、マルチメーターを使って端子台での電圧読み取りが想定通りであることを確認してもらいます。以下の電圧読み取りを記録します: L1~L2/N、L1~接地、L2/N~接地。
赤色点滅 7	車両の過電流検出	車両の充電電流設定を下げてください。接続している車両が Tesla 製の車両で、問題が解決しない場合、車両識別番号とおおよそのエラー時間を記録して、Tesla までお問い合わせください。車両が Tesla 製でない場合、それぞれの車両メーカーにお問い合わせください。

赤色 LED のエラーに対する追加説明

ウォールコネクターのアラートはブラウザによる試運転ウィザードで確認することができます（試運転ウィザードへの接続に関する説明については、[試運転手順 24 ページを参照](#)を参照してください）。

さらに支援が必要な場合、以下の情報をご準備のうえ、Tesla へお問い合わせください:

- ・ エラーステータスでウォールコネクターの LED が点灯/点滅しているときの短い動画



ウォールコネクターの LED

- ウォールコネクターの部品番号およびシリアル番号（側面のラベルに記載）の写真
- 問題が見られた期間
- エラーステータスになったときにウォールコネクターに接続していた車両の車両識別番号
- 車両の画面に表示されたエラーメッセージの写真

お問い合わせ:

- JapanCS@tesla.com
- 0120-312-441



保証に関する情報

充電機器限定保証では、以下に記載の例外および制限の対象となり、Tesla が製造し販売したウォールコネクターに、お客様に充電機器の請求が発生した日より通常の個人使用の場合は 48 か月以内、商用使用の場合*12 か月以内に発生した製造上の欠陥の修正に必要な返金、修理、もしくは交換を保証の対象としています。また、Tesla が製造し販売したモバイルコネクターまたは充電アダプターにおいては、お客様に充電機器の請求が発生した日より 12 か月以内に通常使用により発生した製造上の欠陥の修正に必要な返金、修理、もしくは交換を保証の対象としています。Tesla 車両の初期購入および Tesla による納車に含まれる Tesla が製造し販売したコネクターやアダプターは、新車限定保証の条件の下で、4 年間または累計走行距離が 80,000 km (50,000 マイル) のいずれか先に到達するまで、新車限定保証の基本車両限定保証の項の対象となります。

*ウォールコネクターに特定した保証の請求では、「商用使用」とはウォールコネクターを住居用の一戸建て住宅で日常的な個人の充電使用以外の目的のために使用することです。これには、ホテル、オフィス、駐車場および複合施設（アパート、分譲マンション、他の複数世帯や集団用の住居施設を含む）、小売店および他の課金充電のための場所（オンラインに掲載されている、または公開されている場所）、また所有者以外の利用者が合理的にウォールコネクターを利用できる場所での使用を含みますが、これらに限定されません。

この充電機器限定保証では、通常の摩耗または劣化、乱用、誤用、放置、事故、また適切な取り付け、使用、メンテナンス、保管もしくは輸送の欠如や不履行によって発生したいかなる直接的または間接的な損害や故障も対象としません。以下を含みますが、これらに限定されません。

Tesla コネクターまたはアダプターに付随する文書に記載される取り扱い説明、動作、メンテナンス、警告に従わない場合。

Tesla コネクターまたはアダプターに衝撃を加える物体、不良の電気配線や接続部または損傷した電気配線や接続部、外部の電気的な不良、ジャンクションボックス、サーキットブレーカー、レセプタクル、もしくは電源コンセント、また火災、地震、水害、雷撃などの環境条件を含むがこれらに限定されない環境的要因や不可抗力。

全体的外観または塗装の欠け、傷、へこみ、ひび割れなどの損傷。

本充電機器限定保証対象となる欠陥発見時における Tesla への連絡不履行。

Tesla コネクター、アダプターまたはいずれかの部品の修理、改変または改造、あるいは権限のない、もしくは認定されていない人物や施設による製造部品またはアクセサリーの取り付けまたは使用。

Tesla 純正品以外のアクセサリーまたは部品の使用を含む、適切な取り付け、修理もしくはメンテナンスの欠如または不履行。

Tesla はすべてのメンテナンス、サービス、または修理を Tesla サービスセンターまたは Tesla 認定修理施設で実施することを要請していませんが、メンテナンス、サービス、または修理の不履行、あるいはそれらが適切に実施されないことにより、本充電機器限定保証が無効になる、もしくは保証範囲から除外される場合があります。Tesla サービスセンターおよび Tesla 認定修理施設は、Tesla コネクターおよびアダプターに関する専門的訓練、専門知識、工具および備品を備えており、場合によっては、Tesla コネクターおよびアダプターを修理するために認定された人員を雇用することができる、もしくは Tesla コネクターおよびアダプターの修理を実施できる唯一の認定または有資格の施設となります。Tesla は、本充電機器限定保証にもとづき、保証が無効になること、または保証範囲から除外されることを防ぐため、メンテナンス、サービス、および修理はすべて Tesla サービスセンターまたは Tesla 認定修理施設で行うことを強く推奨します。

責任の制限

本充電機器限定保証は、お客様の Tesla コネクターまたはアダプターに関する唯一の明示的保証です。商品適格性または通商品質、特定の目的への適合性、もしくは耐久性の黙示的保証および条件、または取引の過程もしくは商慣習によって生じる黙示的保証および条件、または潜伏あるいは隠れた欠陥を始め、これらに限定することなく、適用される当該地域の法律、連邦法あるいはその他の法律もしくは衡平法上の権利のもとに生じる黙示的および明示的保証と条件は、地域の法律の許す範囲で排除されるか、本充電器限定保証が定める期間に限定されます。お客様の地域の法律の許す範囲におい



保証に関する情報

て、Tesla による対象欠陥に対する新しい部品、中古部品、もしくは再生部品での必要な修理や交換の実施は、本充電機器限定保証またはあらゆる黙示的保証にもとづく唯一の排他的な救済措置です。お客様の地域の法律のもとで最大限認められる範囲において、免責額は Tesla コネクタまたはアダプターの修理または交換の合理的な価格に限定され、製造者の希望小売価格を超えないものとします。交換は、製造者の非正規部品または再生品など、必要に応じて同等の種類および品質の部品を用いて行うものとします。本充電機器限定保証では、修理に必要な部品と工場の人的作業に限り対象とし、現場での修理充電機器または交換充電機器の取り外し、再取り付け、もしくは取り去りに係る人的作業費用は含まれません。Tesla コネクタまたはアダプターの交換を含む、本充電機器限定保証に基づき修理または交換される部品は、本充電機器限定保証において適用される保証期間または適用される法律が定める期間が終了するまでの間に限り保証されます。Tesla コネクタまたはアダプターを修理または交換することで元の保証期間が延長されることはありません。

、Tesla は欠陥発見の直前の時点における Tesla コネクタまたはアダプターの適正市場価格を超えてこのコネクタ限定保証にもとづく欠陥に対する責任を負わないものとします。さらに、本充電機器限定保証にもとづいて支払われる保証支払額の総額は該当するコネクタまたはアダプターへのお客様の支払価格を超えないものとします。

テスラは、いかなる人物または法人に対しても、本充電機器限定保証に関連して、テスラについて他の一切の義務または責任を発生させることを認めません。地域の法律と規制のもとで、部品の修理または交換の判断、あるいは新品、再調整品、または再生品の使用の判断は、Tesla 独自の裁量において行われます。Tesla は、特定のモデルまたはケースバイケースによる特別な状況に限り、本充電機器限定保証の対象範囲に含まれない特定の修理費の一部または全額のお支払いを申し出る場合があります。Tesla は、上記を随時実行する権利を有しますが、その他の Tesla 充電機器所有者に対して同等の支払い義務を負うものではありません。

地域の法律のもと最大限認められる範囲において、Tesla は Tesla コネクタまたはアダプターに関連して発生したいかなる間接的、付随的、特別、および結果的な損害については一切責任を負いません。これらの損害には、たとえば以下のものが含まれます。Tesla 指定サービスセンターへの輸送、Tesla 指定サービスセンターからの輸送、Tesla コネクタまたはアダプターあるいは車両価値の喪失、時間の喪失、収入の喪失、使用不能損失、個人財産または商業用財産の損失、不都合または不満、精神的苦痛または精神的危害、(利益または売り上げの損失などの) 商業的損失、車両牽引料金、バス代、車両レンタル料金、修理依頼の電話料金、ガソリン代、宿泊費、牽引車両の損害、および電話料金、ファクシミリ通信費、郵便料金などの付随的費用。

上記の制限および適用除外は、お客様の請求が、契約、不法行為（過失および重大な過失を含む）、保証違反、条件違反、不実告知（過失の有無を問わず）その他法令または衡平法に基づくものであるかを問わず適用されるものとし、Tesla がかかる損害の可能性を知らされていたか、またはかかる損害が合理的に予見可能であったとしても同様とします。

本充電機器限定保証は、Tesla またはその従業員、代理店もしくは下請業者（該当する場合）の過失に直接起因する死亡または人身事故、不正または悪意による不実表示、もしくは管轄権を有する裁判所の終局判決において認められるその他のあらゆる責任について、また地域の法律上除外も制限もできない責任について、Tesla の責任を除外および制限するものではありません。

紛争の解決

地域の法律によって最大限に許される範囲において、お客様は、紛争を紛争解決制度（後述）に提出する前に、合理的な時間内かつ本充電機器限定保証で指定された適用保証期間内に、製造上の欠陥に関する書面通知を行い、Tesla に必要な修理を実施する機会を与えるものとします。紛争の解決に関する書面通知は以下の住所に送付してください。

日本国内で登録された車両：

Tesla Motors Japan 合同会社

東京都港区虎ノ門4丁目1-13 プライムテラス神谷町10階

電話番号: 03-4570-4270

以下の情報をお知らせください。

- Tesla コネクタまたはアダプター請求書日付
- お客様のお名前とご連絡先



保証に関する情報

- 最寄りの Tesla ストアおよび/または Tesla サービス センターの名前と所在地
- 欠陥の説明
- 問題解決のためにお客様が Tesla と実行した試み、または Tesla により実行されなかった修理およびサービスの履歴
- 本充電機器限定保証に関してお客様と Tesla との間で、何らかの紛争または意見の不一致、もしくは対立が発生した場合、Tesla は円満解決のためにあらゆる可能性を模索します
- 和解に至らなかった場合、すべての争議は東京地方裁判所に提起されます。

TESLA

改訂 1.1